

〔Ⅲ〕 「特別モニターへのアンケート調査」の経過報告

(1) 特別モニターの委嘱について

(ア) まず、2つの番組の受講生200名ずつの中から、次の別表

(1) と別表(2)にあるように、それぞれ、70名の方々に對し、特別モニターになっていただけるかどうかを問合せることとし、次のような依頼状(別紙1)と回答用ハガキ(別紙2)を郵送した。

なお、特別モニターの候補者を選ぶに際しては、次の点を考慮した。

(1) 郵便事情を考慮して、次の4都県に住む受講生の中から選ぶこととした。

東京都

千葉県

埼玉県

神奈川県

(2) 現在、短大・大学に通っている学生は除くこととした。

(イ) その結果、特別モニターの承諾者は、別表(3)・別表(4)のようになった。

(別表1)

『特別モニターの候補者』 (59.7.20.)

「青少年文化」

東京 (100) 35名

主婦	12名
公務員	12名
会社員	8名
自由業	3名

千葉 (200) 17名

主婦	8名
公務員	1名
会社員	5名
自由業	3名

埼玉 (300) 11名

主婦	5名
公務員	4名
会社員	2名

神奈川 (400) 7名

主婦	2名
公務員	2名
会社員	3名

計 70名

(別表2)

『特別モニターの候補者』 (59. 7. 20.)

「人間の生物学」

東京 (100) 35名

主婦 12名
公務員 9名
会社員 10名
自由業 4名

千葉 (200) 20名

主婦 8名
公務員 5名
会社員 4名
自由業 3名

埼玉 (300) 8名

主婦 3名
公務員 3名
会社員 2名

神奈川 (400) 7名

主婦 3名
公務員 2名
会社員 2名

計 70名

(別紙1)

昭和59年7月23日

受講生各位 殿

今般、放送教育開発センターでは、来たる8月20日(月)から始まる大学放送教育実験番組のうち、『人間の生物学』と『青少年文化』という2番組について、受講生の方々に、番組内容が毎回どの程度理解されたかを調査することになっています。

つきましては、この15回にわたる放送期間中、毎週、センターからお送りする簡単な質問に答えていただける『特別モニター』を、既に受講生に内定している方々の中から再募集しています。毎回、質問の数は1問ずつの予定で、「番組のねらい」に関係した質問です。

このアンケート調査は、決して個人個人の成績を調べることが目的ではなく、あくまでも、番組改善のための資料とする目的で行なうものであって、従って、個人名などを出すことは、一切いたしません。ですから、安心してご協力をお願いしたいのです。

なお、毎回ご返事をいただいた方々には、このアンケートの結果を、毎回再び、できるだけ速くお知らせして、特別モニターの方々の学習の向上に役立つようにしたいと考えています。

来たる8月3日(金)までに、ご協力いただけるかどうかの御返事を、同封のハガキにてお知らせいただければ幸いです。

放送教育開発センター 研究開発部

『番組制作改善研究班』

(担当) 寺脇 若松 柴山

赤堀 浅野

郵便はがき



-

〒260 千葉市若葉2丁目

放送教育開発センター

「番組制作改善研究班」宛

「特別モニター」について

1. 希望する

2. 希望しない

(どちらかを○で囲む)

氏名 (

郵便番号 (〒)

住所 (

電話番号 (

「青少年文化」

東京 (100) 24名

主婦	6名
公務員	10名
会社員	6名
自由業	2名

千葉 (200) 13名

主婦	5名
公務員	0名
会社員	4名
自由業	4名

埼玉 (300) 4名

主婦	1名
公務員	1名
会社員	2名

神奈川 (400) 7名

主婦	2名
公務員	3名
会社員	2名

計 48名

「人間の生物学」

東京(100) 29名

主婦	7名
公務員	9名
会社員	9名
自由業	4名

千葉(200) 15名

主婦	7名
公務員	2名
会社員	5名
自由業	1名

埼玉(300) 7名

主婦	3名
公務員	2名
会社員	2名

神奈川(400) 4名

主婦	2名
公務員	1名
会社員	1名

計 55名

(2) Questionnaire及び正誤表の作成について

Questionnaireと正誤表の作成については、前出の「主任講師へのインタビュー」の中でもふれたように、『青少年文化』担当の深谷教授と門脇助教授、それから『人間の生物学』担当の太田教授のお三人とも、丁度、連日番組制作でお忙しい最中に、それぞれ、このQuestionnaireと正誤表づくりをお願いすることとなった。三人の先生方に、たいへんご負担をおかけしたことに対し、厚く感謝申しあげる次第である。

おかげで、放送がはじまる8月20日（月）までには、15回分の出題と正誤表が準備できたので、「アンケートの定期的送受信」が、効率的に、かつ、たいへんスムーズにすすめられた。

(3) アンケートの定期的送受信について

今回の調査研究は、15週にわたって、毎週、Questionnaireをモニターに郵送して回答を求めるという極めて煩瑣な業務となるため、アンケートの送受信業務や回答の回収・整理業務、さらに回答に対するフィードバック業務等の省力化、効率化を考え、アンケート用紙の送受信を次のようにした。

『青少年文化』・・・・・・毎週木曜日（午前5：45～6：30）放送

(1) Questionnaireの送付

毎週放送前日には、モニターの手元にQuestionnaire（別紙3参照）と回答用ハガキ（別紙4）が届くようにするため、毎週月曜日の午前中に今週の分を送付するようにする。

第2週目からは、前週の回答に対する正誤表（別紙5参照）を同封して送る。

(2) なお、前週のQuestionnaireに対する回答は、月曜日の午前中に締め切り、直ちにフィードバック用紙（別紙6：個人別回答結果表参照）を作成し、次の週の、モニターに届けるQuestionnaireに同封して送り返す。

『人間の生物学』・・・毎週土曜日（午前5：45～6：30）放送

（1）Questionnaireの送付

『青少年文化』の場合と同じように考えて、毎週水曜日午前中に、今週の分をモニターに送付する。

第2週めからは、前週の回答に対する正誤表を同封して送る。

（2）なお、前週のQuestionnaireに対する回答は、水曜日の午前中に締め切り、直ちにフィードバック用紙（個人別回答結果表）を作成し、次ぎの週の、モニターに送付するQuestionnaireに同封して送り返す。

（注） なお、この「アンケートの定期的送受信日の設定」については、特に『青少年文化』の場合、あまり適切ではなかったと反省している。

というのは、現在当センターのある千葉市の幕張地区は、未だ郵便事情が良くないということが、このアンケート調査を実施してみて、はじめて判明したからである。

(別紙 3)

8月23日(木)『青少年文化』(第1回)放送を御覧になって、次の問に答えて下さい。

「発達的な課題」の説明として、いちばん正しいのは、1～5のどれだと思いにありますか？

これだと思った事項の番号を、1つだけえらび、同封の回答用ハガキに書いて、来週月曜日の午前中までに必着するよう、返送して下さい。

1. 発達的な課題とは、学校で先生たちが決め、子供に守らせるものである。
2. 豊かな社会になると、どこの国の子供も、発達的な課題を失い始める。
3. 発達的な課題とは、離乳とか、おしめなど、乳児期の問題である。
4. 現代の子供は、発達的な課題を解決することなしに成長している。
5. 順調に育っている子供は、発達的な課題などは考えなくてよい。

郵便はがき



<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----------------------

〒280 千葉市若葉2丁目

放送教育開発センター

『番組制作改善研究班』宛

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

月 日 (木) 放送
『青少年文化』(第 回)

回 答

氏名 ()

受講生番号 ()

(別紙 5)

8月23日(木)放送の『青少年文化』(第1回)について、たくさん回答をいただきました。正解は、次ぎの通りです。もう一度よく確かめてください。

1 = 「課題」という言葉にひっかかってしまいましたね。もう一度印刷教材を読み直して下さい。正解は、4. です。

2 = 確かに、日本の子供をイメージにおくと、そんな感じがします。しかし、豊かな社会だからといって、必ずしも成長の歪みを伴うものではありません。正解は、4. です。

3 = 確かに、発達的な課題のポイントは、乳幼児期にみうけられます。しかし、ギャング集団の喪失などが問題となるように、児童期以降にも課題が残っています。正解は、4. です。

4 = これが、正解です。問題は、そうした成長の歪みをどうとらえるかだと思います。講義では、児童期のギャング集団と青年期の反抗をテーマにしてみました。

5 = 確かに、そうとも思われますが、問題が生じてから手を打ったのでは、遅過ぎます。発達的な課題は、成長を占うものさしの様なものですから、もう少し大事に扱しましょう。

(別紙 6)

アンケートの集計結果
番組名(回) : 青少年文化 (第 1回目)
受講生番号 : 4141
氏名 : ●●●●●
正解 : 4
あなたの答 : 4
回答者数 : 36
正解者数 : 31
正答率(%) : 86.1

アンケートの集計結果
番組名(回) : 青少年文化 (第 1回目)
受講生番号 : 4142
氏名 : ●●●
正解 : 4
あなたの答 : 4
回答者数 : 36
正解者数 : 31
正答率(%) : 86.1

アンケートの集計結果
番組名(回) : 青少年文化 (第 1回目)
受講生番号 : 4146
氏名 : ●●●●
正解 : 4
あなたの答 : 4
回答者数 : 36
正解者数 : 31
正答率(%) : 86.1

アンケートの集計結果
番組名(回) : 青少年文化 (第 1回目)
受講生番号 : 4147
氏名 : ●●●●
正解 : 4
あなたの答 : 4
回答者数 : 36
正解者数 : 31
正答率(%) : 86.1

(4) アンケートの調査結果 (中間報告)

(ア) 回答者数の推移と回答状況

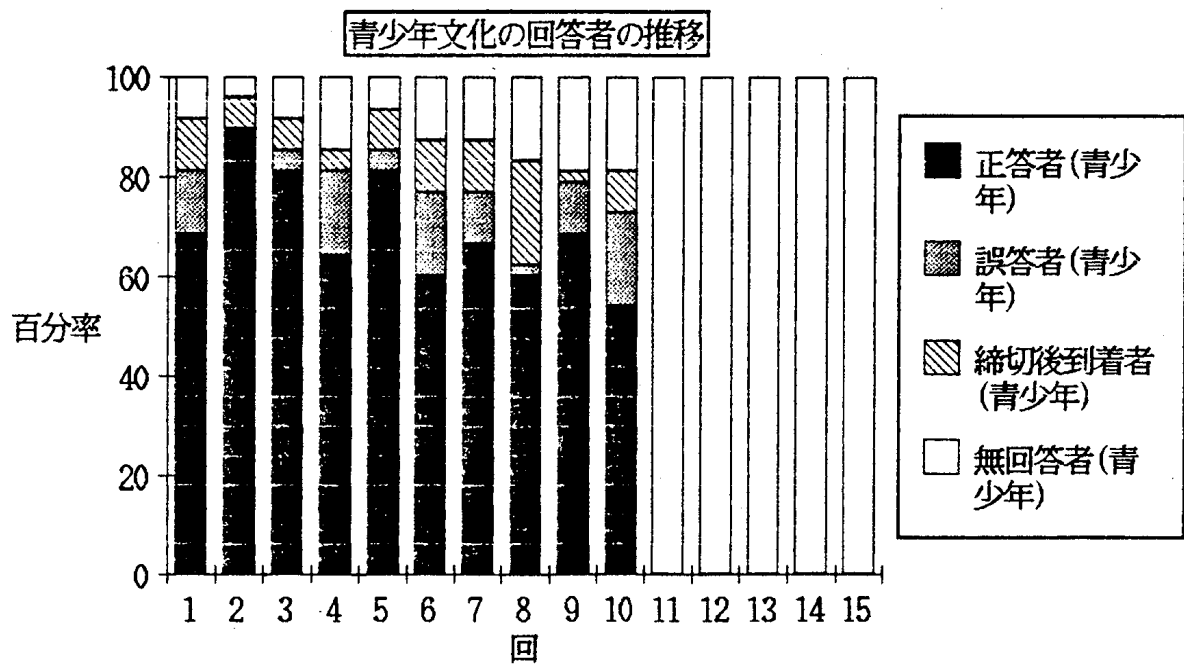
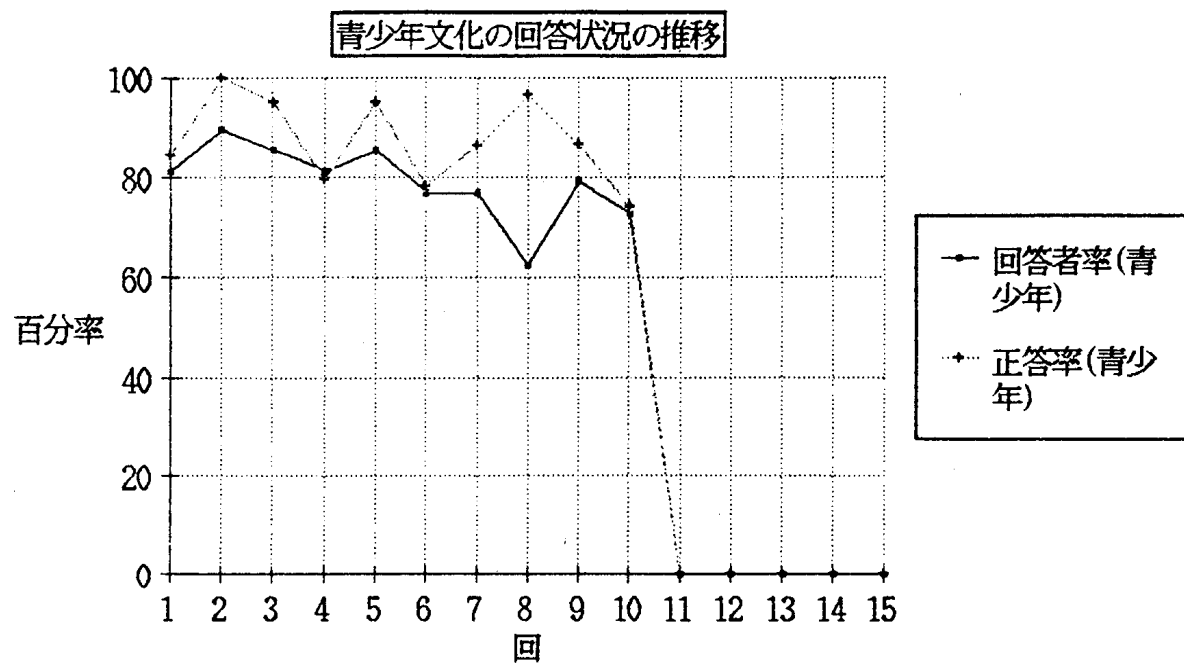
まず、はじめに、毎回の回答者数 (回答者率) や正答者数 (正答率) が、どのように推移してきたかをみてみよう。

別表 (5) - a : 『青少年文化』の回答状況、及び、回答者数の推移
別表 (6) - a : 『人間の生物学』の回答状況、及び回答者数の推移
別表 (5) - b : 『青少年文化』の1回目から10回目までの個人別回答結果、及び、回答状況
別表 (6) - b : 『人間の生物学』の1回目から10回目までの個人別回答結果、及び、回答状況

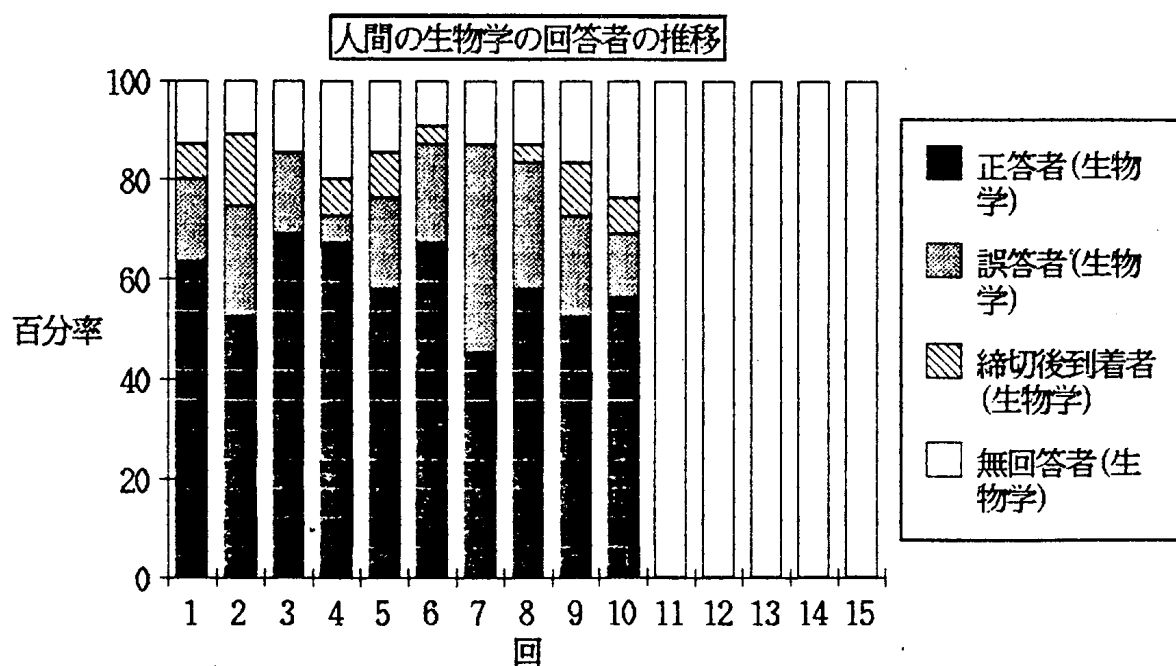
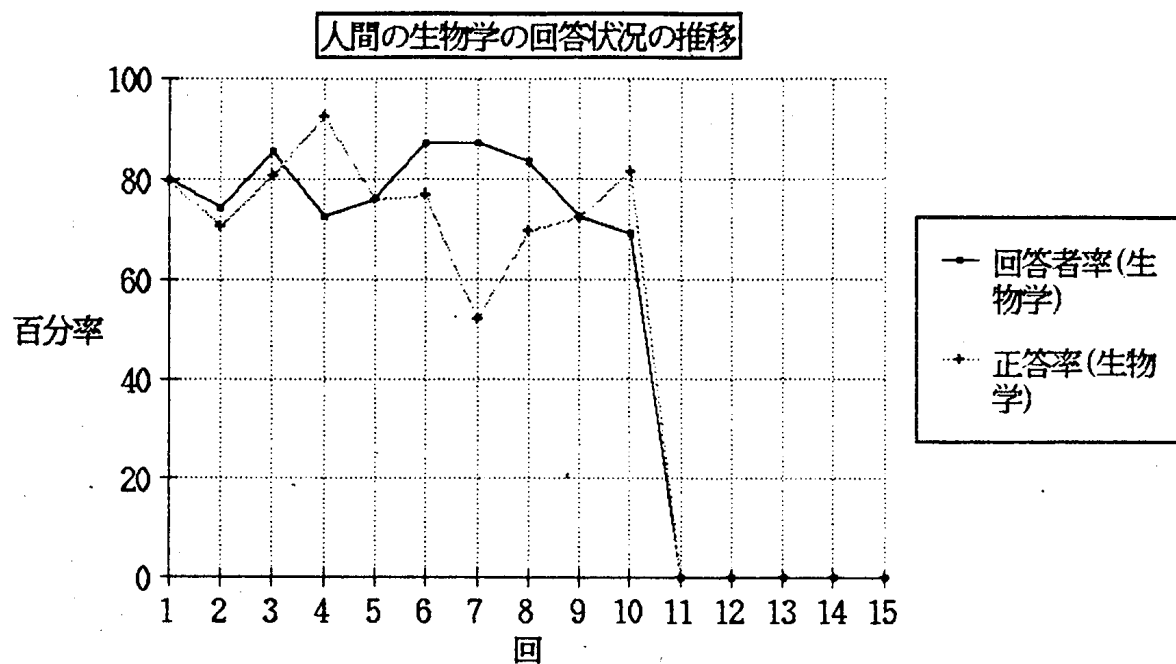
これらのデータから、いずれも、学習継続率というか、学習定着度が、かなり高いことがわかる。

特に、回答の締め切り後に届いた回答も含めた全体の回収率からいうと、殆ど毎回、8割以上の特別モニターが、回答をよこしたことになる。

[別表(5) - a]



[別表(6) - a]



[別表(5) - b]

青少年文化の回答状況の推移

回	回答者数	正答者数	回答者率	正答者率	正答率
1	39人	33人	81.3%	68.8%	84.6%
2	43人	43人	89.6%	89.6%	100.0%
3	41人	39人	85.4%	81.3%	95.1%
4	39人	31人	81.3%	64.6%	79.5%
5	41人	39人	85.4%	81.3%	95.1%
6	37人	29人	77.1%	60.4%	78.4%
7	37人	32人	77.1%	66.7%	86.5%
8	30人	29人	62.5%	60.4%	96.7%
9	38人	33人	79.2%	68.8%	86.8%
10	35人	26人	72.9%	54.2%	74.3%
11	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%
12	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%
13	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%
14	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%
15	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%
計	380人	334人	79.2%	69.6%	87.9%
平均	38.0人	33.4人			

青少年文化の全体結果

[別表(5)-b]

受講生 番号	氏名	回答数 (回)	正答数 (回)	正答率 (%)	回答状況 123456789012345
4134	■■■■■	8	6	75.0	222221001200000
4137	■■■■■	9	8	88.9	222221220200000
4139	■■■■■	10	7	70.0	221222122100000
4140	■■■■■	8	8	100.0	222222202000000
4141	■■■■■	10	9	90.0	222212222200000
4142	■■■■■	10	9	90.0	222222222100000
4146	■■■■■	9	8	88.9	222222210200000
4147	■■■■■	10	9	90.0	222222221200000
4148	■■■■■	9	7	77.8	122222202100000
4149	■■■■■	9	7	77.8	220222122100000
4150	■■■■■	10	8	80.0	222221222100000
4151	■■■■■	6	6	100.0	022222002000000
4154	■■■■■	10	9	90.0	222122222200000
4155	■■■■■	1	1	100.0	000020000000000
4156	■■■■■	5	5	100.0	022022000200000
4157	■■■■■	9	5	55.6	222101122100000
4158	■■■■■	10	10	100.0	222222222200000
4159	■■■■■	3	3	100.0	000000022200000
4162	■■■■■	8	8	100.0	002222222200000
4163	■■■■■	10	8	80.0	121222222200000
4164	■■■■■	7	6	85.7	222120002200000
4165	■■■■■	8	7	87.5	222122202000000
4166	■■■■■	6	5	83.3	222120200000000
4168	■■■■■	9	7	77.8	222221022100000
4213	■■■■■	5	4	80.0	122000200200000
4214	■■■■■	10	10	100.0	222222222200000
4215	■■■■■	4	3	75.0	222000100000000
4216	■■■■■	7	6	85.7	022102222000000
4220	■■■■■	9	9	100.0	202222222200000
4221	■■■■■	10	10	100.0	222222222200000
4222	■■■■■	10	10	100.0	222222222200000
4223	■■■■■	2	2	100.0	000022000000000
4224	■■■■■	9	9	100.0	222202222200000
4225	■■■■■	5	3	60.0	122210000000000
4226	■■■■■	8	8	100.0	222222202000000
4227	■■■■■	5	4	80.0	022021200000000
4228	■■■■■	10	10	100.0	222222222200000
4308	■■■■■	10	10	100.0	222222222200000
4310	■■■■■	10	10	100.0	222222222200000
4312	■■■■■	10	9	90.0	222221222200000

青少年文化の全体結果

受講生氏名 番号		回答数 (回)	正答数 (回)	正答率 (%)	回答状況 123456789012345
4313	■ ■ ■ ■ ■	10	9	90.0	222222222100000
4422	■ ■ ■ ■ ■	7	7	100.0	222220002200000
4424	■ ■ ■ ■ ■	9	8	88.9	220221222200000
4426	■ ■ ■ ■ ■	6	3	50.0	120000122100000
4427	■ ■ ■ ■ ■	9	7	77.8	222122201200000
4428	■ ■ ■ ■ ■	8	7	87.5	222220221000000
4429	■ ■ ■ ■ ■	10	8	80.0	122122222200000
4431	■ ■ ■ ■ ■	3	2	66.7	020020001000000

モニターの平均
 回答数 = 7.9回
 正答数 = 7.0回
 正答率 = 87.9%

| 回答状況
 | 無回答 0
 | 誤答 1
 | 正答 2

[別表(6) - b]

人間の生物学の回答状況の推移

回	回答者数	正答者数	回答者率	正答者率	正答率
1	44人	35人	80.0%	63.6%	79.5%
2	41人	29人	74.5%	52.7%	70.7%
3	47人	38人	85.5%	69.1%	80.9%
4	40人	37人	72.7%	67.3%	92.5%
5	42人	32人	76.4%	58.2%	76.2%
6	48人	37人	87.3%	67.3%	77.1%
7	48人	25人	87.3%	45.5%	52.1%
8	46人	32人	83.6%	58.2%	69.6%
9	40人	29人	72.7%	52.7%	72.5%
10	38人	31人	69.1%	56.4%	81.6%
11	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%
12	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%
13	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%
14	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%
15	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%

計	434人	325人	78.9%	59.1%	74.9%
平均	43.4人	32.5人			

[別表(6) - b]

人間の生物学の全体結果

受講生 番号	氏 名	回 答 数 (回)	正 答 数 (回)	正 答 率 (%)	回 答 状 況									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
6125	■ ■ ■ ■ ■	10	8	80.0	1	2	2	2	2	1	2	2	2	0
6126	■ ■ ■ ■ ■	9	4	44.4	2	2	2	0	1	1	1	1	1	0
6127	■ ■ ■ ■ ■	9	9	100.0	2	0	2	2	2	2	2	2	2	0
6128	■ ■ ■ ■ ■	9	5	55.6	2	1	1	0	1	2	1	2	2	0
6129	■ ■ ■ ■ ■	9	9	100.0	2	0	2	2	2	2	2	2	2	0
6131	■ ■ ■ ■ ■	8	3	37.5	2	2	1	1	1	1	1	1	0	0
6132	■ ■ ■ ■ ■	10	8	80.0	2	2	1	2	2	2	1	2	2	0
6133	■ ■ ■ ■ ■	9	4	44.4	0	1	1	2	2	2	2	1	1	0
6134	■ ■ ■ ■ ■	2	2	100.0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0
6135	■ ■ ■ ■ ■	10	7	70.0	2	1	2	2	2	2	2	1	2	0
6136	■ ■ ■ ■ ■	10	9	90.0	2	2	2	2	2	2	2	1	2	0
6137	■ ■ ■ ■ ■	8	4	50.0	0	2	2	1	0	1	2	1	2	0
6138	■ ■ ■ ■ ■	10	9	90.0	2	2	2	2	2	2	1	2	2	0
6139	■ ■ ■ ■ ■	9	6	66.7	2	1	2	2	2	1	1	2	2	0
6140	■ ■ ■ ■ ■	2	1	50.0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
6141	■ ■ ■ ■ ■	6	6	100.0	2	2	0	0	2	2	0	0	2	0
6142	■ ■ ■ ■ ■	9	5	55.6	2	2	1	2	1	1	2	0	1	0
6144	■ ■ ■ ■ ■	7	5	71.4	0	0	2	0	2	2	1	2	1	0
6145	■ ■ ■ ■ ■	5	3	60.0	0	0	2	2	1	0	2	1	0	0
6148	■ ■ ■ ■ ■	7	7	100.0	0	2	2	2	2	0	2	0	2	0
6150	■ ■ ■ ■ ■	10	6	60.0	1	1	2	2	1	2	2	1	2	0
6151	■ ■ ■ ■ ■	10	9	90.0	2	2	2	2	2	1	2	2	2	0
6153	■ ■ ■ ■ ■	10	5	50.0	1	1	1	2	2	1	2	2	2	0
6154	■ ■ ■ ■ ■	10	9	90.0	2	2	2	2	2	1	2	2	2	0
6155	■ ■ ■ ■ ■	9	8	88.9	1	2	2	2	2	2	2	0	2	0
6156	■ ■ ■ ■ ■	6	5	83.3	2	2	2	0	1	2	0	0	0	0
6157	■ ■ ■ ■ ■	10	9	90.0	1	2	2	2	2	2	2	2	0	0
6159	■ ■ ■ ■ ■	10	9	90.0	2	2	2	2	2	1	2	2	2	0
6160	■ ■ ■ ■ ■	1	0	0.0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6201	■ ■ ■ ■ ■	7	3	42.9	2	1	2	0	2	1	1	1	0	0
6202	■ ■ ■ ■ ■	10	8	80.0	1	1	2	2	2	2	2	2	0	0
6203	■ ■ ■ ■ ■	10	9	90.0	2	2	1	2	2	2	2	2	0	0
6204	■ ■ ■ ■ ■	5	4	80.0	0	0	0	0	2	2	2	1	2	0
6205	■ ■ ■ ■ ■	10	8	80.0	2	2	2	2	2	1	1	2	2	0
6206	■ ■ ■ ■ ■	10	6	60.0	2	2	2	1	2	1	1	1	2	0
6208	■ ■ ■ ■ ■	10	9	90.0	2	2	1	2	2	2	2	2	2	0
6210	■ ■ ■ ■ ■	10	10	100.0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0
6211	■ ■ ■ ■ ■	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6212	■ ■ ■ ■ ■	7	4	57.1	2	1	2	0	2	1	1	2	0	0
6214	■ ■ ■ ■ ■	10	9	90.0	2	2	2	2	2	2	2	1	0	0

人間の生物学の全体結果

受講生 番号	氏名	回答数 (回)	正答数 (回)	正答率 (%)	回答状況 123456789012345
6215	■■■■■	9	7	77.8	22222121000000
6217	■■■■■	4	3	75.0	100000202200000
6218	■■■■■	5	3	60.0	200001221000000
6219	■■■■■	6	5	83.3	002222100200000
6325	■■■■■	10	8	80.0	222221122200000
6326	■■■■■	9	7	77.8	222212122000000
6327	■■■■■	10	7	70.0	222222112100000
6328	■■■■■	10	8	80.0	122212222200000
6329	■■■■■	5	3	60.0	212002100000000
6331	■■■■■	7	7	100.0	202222022000000
6332	■■■■■	4	0	0.0	111000001000000
6425	■■■■■	9	4	44.4	221111201200000
6426	■■■■■	4	4	100.0	000022220000000
6428	■■■■■	10	10	100.0	222222222200000
6429	■■■■■	9	5	55.6	202211112200000

モニターの平均

回答数 = 7.9回
正答数 = 5.9回
正答率 = 74.9%

| 回答状況
| 無回答 0
| 誤答 1
| 正答 2

(イ) 脱落防止の手だて

回答の回収率を更に高めるための方策として、第3回目と第5回目の回答を受け取った段階で、次のような問題と思われるモニターの方々を洗い出し、別紙(7) - a. - b. - c. - d. - e. のような手紙をそれぞれの該当者に郵送することとした。

a	一度も回答をよこさない人	別紙(7) - a
b	いつも締め切り後に届く人	別紙(7) - b
b'	たまに遅れて届く人	別紙(7) - b'
c	いつも放送を見ないで回答をよこす人	別紙(7) - c
c'	時々放送を見ないで回答をよこす人	別紙(7) - c'
d	時々回答をよこさない人	別紙(7) - d
e	初めて回答をよこさなかった人	別紙(7) - e

手紙は、別紙のとおりパターン化して、数種類を用意し、時々、個人別回答状況の推移を見て、該当者が見つければ、すぐに出すように努めた。

問題になるモニターは、案外、そう多くなく、毎回せいぜい10パーセント程度で、人数にして4～5人であった。手紙もパターン化して用意したので、手紙の郵送業務も、そんなに面倒なことではなかった。

殿

放送教育開発センター

『番組制作改善研究班』

前略

特別モニターをお引受けいただき、毎週ご回答を期待いたしておりますが、貴殿におかれましては、未だ一度も御回答がいただけず、集計にも加えられなくて、残念に思っております。

多分、放送が早朝なのと、毎日のお仕事が、お忙しいためかと存じますが、視聴できなかった理由などお知らせいただくのも、これからの放送大学側にとって役立ちます。

ですから、どうぞ、視聴できなかった場合は、回答用ハガキにその理由など書いてご返送いただければ、大変幸せに存じます。

なお、ぜひ、今後とも、頑張って放送学習を続けて下さるよう、切にお願い申し上げます。

不尽

殿

放送教育開発センター

『番組制作改善研究班』

前略

毎週番組を視聴していただき、かつ、回答を熱心にお寄せいただき、感謝いたしております。

ただ、残念なことに、貴殿からいただく回答については、しばしば、締め切り日を遅れて配達されることがございまして、集計に加えられないことがございます。

実は、当センターのあります千葉市の幕張地区は、郵便事情が、未だ甚だ悪いところで、速達便もききませんし、集配達は一日一回といった状況でございまして、このような事情をお汲みとり下さいまして、できれば、もう少し一日でも早く、投函をお願いしたく存じます。

あしからず、ご協力のほど、お願いいたします。

不尽

殿

放送教育開発センター

『番組制作改善研究班』

前略

毎週番組を視聴していただき、かつ、回答を熱心にお寄せいただき、感謝いたしております。

ただ、残念なことに、貴殿からいただく回答については、たまに、締め切り日を遅れて配達されることがございまして、集計に加えられないことがございます。

実は、当センターのあります千葉市の幕張地区は、郵便事情が、未だ甚だ悪いところで、速達便もききませんし、集配達は一日一回といった状況でございしますので、このような事情をお汲みとり下さいまして、できれば、もう少し、一日でも早く、投函をお願いしたく存じます。

あしからず、ご協力のほど、お願いいたします。

不尽

昭和59年 月 日

殿

放送教育開発センター

『番組制作改善研究班』

前略

毎週『番組制作改善研究』にご協力賜わり、感謝いたしております。

ところで、貴殿からは、毎回回答を寄せていただいておりますが、投函日から推測しますのに、貴殿のハガキは、いつも、放送前日に投函されているように見受けられることがございます。多分、印刷教材（テキスト）だけを見て、回答しておられるものと思われます。

どうぞ、放送を視聴なさってから回答して下さいをお願い申し上げます。

不尽

別紙（７）－c！

昭和59年 月 日

殿

放送教育開発センター

『番組制作改善研究班』

前略

毎週『番組制作改善研究』にご協力賜わり、感謝いたしております。

ところで、貴殿からは、毎回回答を寄せていただいておりますが、投函日から推測しますのに、貴殿のハガキは、ときどき、放送前日に投函されているように見受けられることがございます。多分、印刷教材（テキスト）だけを見て、回答しておられるものと思われます。

どうぞ、放送を視聴なさってから回答して下さいをお願い申し上げます。

不尽

殿

放送教育開発センター

『番組制作改善研究班』

前略

特別モニターをお引受けいただき、毎週熱心にご回答をいただき、感謝いたしておりますが、貴殿におかれましては、第 回と第 回の回答がいただけず、集計にも加えられなくて、残念に思っております。

多分、放送が早朝なのと、毎日のお仕事が、お忙しいためかと存じますが、視聴できなかった理由などお知らせいただくのも、これからの放送大学側にとって役立ちます。

ですから、どうぞ、視聴できなかった場合は、回答用ハガキにその理由など書いてご返送いただければ、大変幸せに存じます。

なお、放送も半分すみしました。あと半分です。ぜひ、今後とも、頑張って放送学習を続けて下さるよう、切にお願い申し上げます。

不尽

殿

放送教育開発センター

『番組制作改善研究班』

前略

特別モニターをお引受けいただき、毎週熱心にご回答をいただき、感謝いたしておりますが、貴殿におかれましては、たまたま、今回（第 回）の回答がいただけず、集計にも加えられなくて、残念に思っております。

多分、放送が早朝なのと、毎日のお仕事がお忙しいためかと存じますが、視聴できなかった理由などお知らせいただくのも、これからの放送大学側にとって役立ちます。

ですから、どうぞ、視聴できなかった場合は、回答用ハガキにその理由など書いてご返送いただければ、大変幸せに存じます。

なお、放送も半分すみしました。あと半分です。ぜひ、今後とも、頑張って放送学習を続けて下さるよう、切にお願い申し上げます。

不尽

(ウ) 回答にみる特別モニターの反応

別紙(7)のような手紙を出したところ、モニターの方々から、いろいろな反応があった。その中から、返事のいくつかを、次に紹介することにしよう。別紙(8)がそれである。

[別紙(8)を参照]

これらの反応をみて感ずることであるが、

(1) 当方は、パターン化した手紙を出しているのであるが、受け取った方は、パーソナル コミュニケーションと受け止めているような返事が返ってくるようである。

(2) 受講生番号4155の方からの返事でもわかるように、放送大学の学生や受講生の学習は、自宅学習が主体であるから、このご夫婦の場合のように、『家族ぐるみの学習』となることが予想される。およそ、全日制の大学教育では考えられないことだが、放送大学では、このような、遠隔教育ならではの学習構造が成立する。放送大学の学生層を考えた場合には今後、このような『家族ぐるみの学習』が奨励されてよい。

（第１回）

４１６２・・・・（締め切り後受領）遅れてすみませんでした。いっしょに、参加させて下さい。

４２１６・・・・（締め切り後受領）夏休みのため、留守にしていたので、遅くなり、申しわけありません。

４４２２・・・・これからが、楽しみです。

（第２回）

４４２９・・・・ハガキが、ぎりぎりに着きました。まあ、今回は間に合いましたが・・・・。

４１５６・・・・青年の遊びが、めまい型から競争型へ移っていくのが、よい過程とありましたが、その総合型というのは、どうなのでしょう。

４１６２・・・・遅れて、ごめんなさい。どうぞ、仲間に入れてください。

（第３回）

４１５６・・・・コメント、三児の母ですが、ブロックを子供に与えて好きなものを作らせています。

４４２９・・・・第１回は、バツでした。もっと慎重に、よく本とテレビでがんばります。申訳ありませんでした。

(第5回)

4155・・・回答を御送りしませんでした、申訳ありません。9月から急に忙しくなってしまいました。そのため、本人が視聴できなくなってしまいました。落ち着いたら、きっと、VTRでも見ると思います。本人に代わりまして私が、回答いたします。回答せぬ私共にも、正解を送ってくださって、ありがとうございます。とても、参考になりました。今後共よろしく。

4162・・・8月末、旅行に出ており、1回、2回と遅れて失礼しました。郵便事情のためではありません。コンピューターに参加できなくて、残念に思っています。

これから頑張ろうと楽しみにしています。御世話をかけてしまい、ごめんなさい。申訳ありませんでした。

なお、今回は、学習センターの連絡がありません。開かれていないのでしょうか。テレビやラジオで、再視聴したいもの、朝寝坊して、一番初めの部分の抜けたものなど、いろいろ、もう一度視聴したいのです。学習センターをあてにしていました。もし、開かれているようでしたら、連絡をおねがいします。

これからは、早くポストにいれます。たいへん失礼しました。よろしく御願います。

4431・・・毎回、回答を送らずにすみません。放送は、かかさず見えています。郵便ポストが遠くて、ハガキを出しそびれ、御迷惑をおかけして、すみません。

(エ) 締め切り後に届いた回答数について

締め切り後に届いた回答数は、2番組とも、それぞれ、次の表の通りである。

[別表 7. 参照]

特に、『青少年文化』の第8回目については、遅れて届いた回答が、10枚にも及んだので、詳しくその投函日を調べたところ、次の通りであることが判明した。

[別表 8. 参照]

このように、現在のところ、当センターのある千葉の幕張地区は、郵便事情がいちじるしく悪い。高度情報化時代などと騒がれている時に、これでは、あまりにもひどすぎる。今後、早急に改善を望みたい。

(別表7) [締め切り後に受領した回答の数] (59. 11. 8.)

	『青少年文化』	『人間の生物学』
第 1 回	5	4
第 2 回	3	8
第 3 回	3	0
第 4 回	2	4
第 5 回	4	5
第 6 回	5	2
第 7 回	5	0
第 8 回	10 (*)	2
第 9 回	1	6
第10回	4	4
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(注) (*) 印については、投函日を調べてみた。

結果は、(別表8) のとおり。

『青少年文化』第8回放送（10月11日放送）の回答状況・・・30通

10月12日（金）に受領した回答・・・・・・・・・・	10通
[内訳] 10月11日（木）投函・・・	10
10月13日（土）に受領した回答・・・・・・・・・・	10通
[内訳] 10月12日（金）投函・・・	10
10月15日（月）に受領した回答（締切日）・・・・・・・・	10通
[内訳] 10月12日（金）投函・・・	2
10月13日（土）投函・・・	7
10月14日（日）投函・・・	1

※締切に間に合わなかった回答・・・・・・・・・・10通

 [内訳] 10月16日（火）に受領・・・10

10月13日（土）投函・・・	2
10月14日（日）投函・・・	3
10月15日（月）投函・・・	5

※結局、この回に回答をよこした特別モニターの総計・・・40名
であった。